

製品名: MYL9 (19Z8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14313**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,IF-P 1:200-1:500
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	MYL9
別名	MLC2; CMH10;
遺伝子 ID	10398.0
SwissProt ID	P24844
免疫原	ヒト MYL9 の合成ペプチド

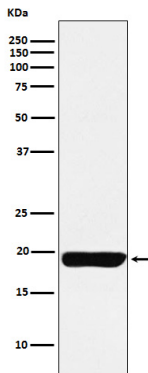
背景

ミオシン調節サブユニットは、リン酸化を介して平滑筋および非筋細胞の収縮活性の制御に重要な役割を果たします。細胞質分裂、受容体キャッピング、および細胞運動に関与しています。ミオシン調節サブユニットは、リン酸化を介して平滑筋および非筋細胞の収縮活性の制御に重要な役割を果たします。細胞質分裂、受容体キャッピング、および細胞運動に関与しています (PubMed:11942626、PubMed:2526655)。筋芽細胞では、筋管形成に関与する PIEZO1 依存性の皮質アクトミオシン集合を制御する可能性があります (類似性による)。

研究分野

血管平滑筋の収縮、接着斑、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、アクチンと細胞骨格の調節。

画像データ



ヒト子宮溶解液中の MYL9 発現のウエスタンブロット分析。